

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2016 May

# 05

Vol.598

03 [特集]

## 輝く女性経営者たち

06 21世紀型 自立型企业づくり

ひと織り、ひと針、  
愛情込めて

～見えないところこそ、  
しっかりとした仕事をする～

宮田織物株式会社

09 第46回 中小企業問題全国経営研究集会

12 自社商品・サービス紹介

13 第54回 定期総会のご案内

14 中小企業家同友会全国協議会九州沖縄ブロック  
第10回 支部長・支部役員研修交流会のご案内

15 5月行事案内 / 第11回 理事会報告

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

## はみだし Report

### 21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



宮田織物株式会社  
代表取締役社長

吉開 ひとみ 氏 (福友支部)

まずは元気にあちこち走り廻る、好奇心旺盛な女史という印象だろうか。ただ走り回るだけではない、その経営の学びに関する嗅覚が新鮮であることと、スピード感が際立っていて清々しい。おおよそそのおっとりとした外見からは想像がつかない内的バイタリティが女史には溢れている。

私は女史がなぜそんなに経営の課題解決に向けた、様々な学びを追い求めるのであるのかと以前から疑問に感じていた。学びを追い求める行為は、経営者として当たり前のことであるにしても、実践となると日々の業務に埋没し、それらの挑戦が後回しにされることが多いのだが、そのなかで多くの学びを実践する。そのチャレンジから、実学として自己の姿勢を整えて行くその様が見事だと思う。

では、女史を突き動かした「なぜ」はどこにあったのか。暫く私の中で混沌としていたが、その答えは今回の月刊同友のインタビューの際の先代社長のなかにあった。

私が強く感じたことは堂々と語られる宮田織物100年の社歴のなかであり、引き継ぐ者に求められる「不易流行」にその思いの答えがあった。かくも重たくなったその思いを継承することは並大抵のことではない。しかも時代の流れと共に人々の嗜好も大きく変わる。それを100年続けたのであるから、私など社歴の浅い創業社長が語るには、あまりにも失礼である事に縮身の思いである。

時にスベる?けど特異な洒落を効かせる、博学の女史というおちゃめな面がもうひとつの顔である事も追記したい。

最後に一言。ひとみさん、やっぱりあなたは凄いです!

記事：日本ビルケア㈱ 山田 秀樹 (福友支部長)

## 今月の表紙

撮影・文：事務局



創業から1世紀を過ぎた宮田織物(株)。同社の歴史は、馬木綿の里、福岡県筑後市で、創業者である宮田サカエ氏(現会長のおばあさん)が久留米緋の機織りを始めたところから始まります。

創業当時の機織り機は残っていませんでしたが、工場内には半世紀もの間使用され続けた機織り機が今も現役で稼働を続けています。この機織り機

が同社の歴史を物語っています。

また、同社には「パンチャー」と呼ばれるパンチカードを作る機械もありました(「ジャカード」とも呼ばれます)。現在はコンピューターを取り入れることで、より多種多様な編み柄を作ることができるようになりましたが、かつてはパンチカードを使用して、穴の有無で上下する金属針と一個一個のシャフトを連動させ、カードで指示された縦糸を開口させ、横糸を通すことでカードで指示された通りの模様を織ってゆく仕組みでした。その機械が今も現役で稼働しています。

宮田織物(株)は産業史の宝庫であるように感じました。



宮田織物(株) 工場内の様子



整経機



パンチャーと呼ばれる機械

## 我が社の宝「機織り機」

宮田織物株式会社 筑後市羽犬塚375 TEL:0942-53-5181

# 輝く女性経営者たち

女性の活躍が求められている今こそ、女性部委員会で一緒に学びませんか？

女性部委員会 委員長 村山 由香里 (株式会社アヴァンティ 代表取締役社長)



女性部委員会は、全支部の女性会員さん対象の委員会です。福岡同友会は、2,103人の会員のうち、271人12.9%が女性会員です(4月1日現在)。全国の同友会でも、「女性会員が増えている同友会は元気だ」と言われます。福岡同友会では、20%を女性会員にしようという目標をたてており、昨年度は仲間づくり推進本部と共催して、女性ゲストのみを対象とした「知る会」を開催しました。

女性会員の比率は、福岡支部が

21.2%、福友支部が19.6%となっています。

例会でも役員会でも女性の活躍が目立ちますが、「女性は少数派でなじみにくい」という支部があることも確かです。とっつきにくいマッチョな支部でも、気軽にまずは女性部委員会に入っていたいで徐々に支部になじんでいかれたらいいなあと思っています。

当委員会では、女性会員を報告者に毎月例会を開催しています。昨年度の経営者フォーラムもそうですが、黙っているとつい報告者は男性ばかりになってしまいがちです。バランスが必要です。女性部では、「女性の登壇者発掘」という使命があると感じています。昨年度は、「見学例会」に力を入れました。県南や北九州などで例会を開催し、遠足気分を楽しみま

|        | 福岡同友会 女性会員数 |       |        |
|--------|-------------|-------|--------|
|        | 2016年度期首会員数 | 女性会員数 | 女性会員比率 |
| 東      | 248         | 23    | 9.3%   |
| 福博     | 104         | 22    | 21.2%  |
| 博多     | 141         | 14    | 9.9%   |
| 中央     | 148         | 25    | 16.9%  |
| 西      | 91          | 13    | 14.3%  |
| 南      | 155         | 20    | 12.9%  |
| 筑紫     | 98          | 15    | 15.3%  |
| 福友     | 306         | 60    | 19.6%  |
| 青年     | 92          | 5     | 5.4%   |
| 玄海     | 109         | 6     | 5.5%   |
| かすや    | 55          | 10    | 18.2%  |
| 糸島     | 41          | 5     | 12.2%  |
| 福岡地区計  | 1,588       | 218   | 13.7%  |
| 北九州    | 146         | 17    | 11.6%  |
| ひびき    | 58          | 5     | 8.6%   |
| 北九州地区計 | 204         | 22    | 10.8%  |
| 筑豊     | 56          | 6     | 10.7%  |
| 嘉飯     | 80          | 12    | 15.0%  |
| 筑豊地区計  | 136         | 18    | 13.2%  |
| 久留米    | 70          | 8     | 11.4%  |
| 大牟田    | 55          | 2     | 3.6%   |
| 有明     | 24          | 0     | 0.0%   |
| りょうちく  | 26          | 3     | 11.5%  |
| 県南地区計  | 175         | 13    | 7.4%   |
| 合計     | 2,103       | 271   | 12.9%  |

2016年4月1日現在

した。現場に行ったからこそのおもしろさがあります。「女性経営者がんばっているなあ、私もがんばらなきゃ」という気持ちになります。さて、昨年、女性活躍推進法という新しい法律が施行されました。301人以上の大企業は、自社の女性活躍の状況を分析して発

表、国に女性活躍の方針を報告し公表することが義務づけられました。日本の国が、あまりにも女性が活躍していないからです。「活躍って何？」と思われるかもしれませんが、例えば、女性経営者、女性管理職など、決定権ある立場にある女性の割合があまりにも低

いこと、男女の給与格差が10.7と大きいことなどがあげられます。

「女性は家庭を守らなければいけないから当たり前じゃないか」という理由は、現代社会では通用しません。そんなことを言っている間に、日本はあつという間に人口が減り、国力が衰え、海外に抜かれていくという状況になってしまいました。

欧米先進国では、女性が活躍している国、男性が家事育児をしている国は少子化対策に成功しています。女性が子どもを育てながら仕事ができる環境をつくること、女性のリーダー層を増やすこと、これは国家的な課題なのです。新法は大企



業対象ですが、県市区町村では、小企業を対象に女性活躍をすすめる政策を打ち出しています。

そこで、女性部委員会は、そんな時代の変化を全会員に知っていたら、女性の活躍を推進するという役割も担っていると考えています。国や県の方針、男女共同参画や女性活躍の最新状況を、男性会員も一緒になって勉強する仕組みを考えています。昨年度は、東支部の例会と共催して、男女共同参画をテーマにした100人例会を開催しました。

最後に、全国大会についてです。女性経営者全国交流会が毎年各地で開催されていますが、今年6月の旭川では、福岡の女性部委員会から合同会社三宅牧場まきばの代表社員三宅静恵さん(筑紫支部)が分科会で報告者をつとめます。ぜひ、多くの方々と一緒に北海道へ行きたいと思っています。

また、2023年は、福岡で同大会が開かれます。毎回、男女半々くらしいの大会で、地元の男性会員の応援のもとに開催されます。福岡同友会会員の男性諸氏の大応援を期待しています。女性の問題は男性の問題でもあるので、ぜひ一緒に勉強しましょう。2023年に向けて、女性活躍についてみなさんの理解を深める努力をまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 東支部3月例会を終えて「梅香る会」の取り組み

有限会社アカシ 取締役

明石 智津子(東支部 梅香る会 会長)



というお話がありました。女性が出産し育児を機に退職、その後職を求めている女性は、現在80万人とも100万人とも言われております。男、女ではなく人として考えれば、働き方を変え、男性も育児に参加し、ワークライフバランスに取り組み、経営者が、働き方を創造することで、女性活躍の場が広がって行き、男女が共に活躍できる社会となつてゆくのではないでしょ

東支部では女性部「梅香る会」が、平成26年5月に立ちあげられました。東支部3月例会では、「梅香る会」と女性部委員会との共催で、福岡県男女共同参画センターあすばるの元館長である中嶋玲子さんを講師として迎え「共に輝くー男女共同参画社会ってどんな社会!？」をテーマに例会を開催しました。「梅香る会」では100人例会を目標に、東支部のブロック長の皆さんの協力を得て声掛けをおこない、104名の方に出席いただき大いに盛り上がった例会となりました。例会では、男女平等とは同質ではなく、双方の質を活かした仕事の仕方があつてよいのではないかと



うか！報告後のグループ討論では、働く女性支援のため同友会でも共同保育なども可能ではないかなど、

各テーブルでテーマならではの意見で盛り上がり、男女共同参画がなぜ必要なのか、改めて身近な問

題として考えるきっかけとなる例会となりました。  
梅香る会は、年に一度支部例会

を担当し、生活者の視点女性ならではのテーマに取り組み今後も発信していきたいと思っております。

## 女性部委員会に参加して

㈱あるほつとプランニング 代表取締役

堤 八恵子さん(西支部)



男性ばかりの中で学び働いてきた私は大丈夫と強気でやってきましたが、世の中の価値観が変化し、私自身も年齢を重ね経営者となる中、様々な人間関係の問題を抱え立ち止まってしまいました。そんな時、「思いが伝わらなかった、ワンマンで上から目線だった」と私と同じ悩みや思いを素直に涙ながらに振り返る女性経営者たちに出会い、目から鱗で自らの幸せを感じ前進できました。女性ばかりの会の良さ、心強い味方の存在に感動しています。

フォーマックスインシユアランス㈱ 執行役員専務

合田 里美さん(東支部)



女性部委員会の皆さんは明るく前向きな考えをお持ちの方ばかりで、女性部会に参加すると、そんな皆さんのパワーを頂いて元気になっていく自分があります。報告会では毎回、女性経営者ならではの新しい気付きやアイデア、感動を頂いていますし、女性経営者同士だからこそ共感できる悩み、問題の解決策の共有をする事ができます。支部の垣根を超えた、ステキな女性経営者の方々との出会いは、私の大切な財産になっています。

㈱Branches 代表取締役

権藤 光枝さん(福博支部)

女性部委員会では、支部では相談



しにくい女性経営者ならではの悩みや家庭、子どものことなど、私生活についても相談しやすくいつも助けられています。女性経営者全国交流会などへも積極的に参加しています。全国の女性経営者の体験報告などをお聞きし自社へ持ち帰ることは、自社の経営はもちろん自分自身の資質の向上へつながり、大変勉強になっています。私は、心身共に成長でき、素晴らしい経営者と出会えるこの女性部が大好きです。

㈲三宅牧場まきは 代表社員

三宅 静恵さん(筑紫支部)



女性部委員会へは入会直後から参加しています。早くから支部を越えて先輩経営者の方々と壁を作らない意見交換をさせていただき、多様な考えを受け入れることができようになりました。多くの女性経営者との出会いがあり、楽しく勉強できる場となっています。

㈱きくち 代表取締役

菊地 裕子さん(福友支部)



私が女性部委員会の活動に参加して約6年になります。参加した当時は「ちよつと恐いオバチャマの集まりかな？」と思っていましたが、大違いで先輩方は優しく素敵で、また近年はメンバーも若返りして後輩も続々参加してくれ、女性経営者同士和気あいあい楽しく活動しています。

# ひと織り、ひと針、愛情込めて

見えないところこそ、しっかりとした仕事をする

大正2年、久留米絨の里・筑後市において創業。  
かつて綿入れ裃天生産日本一を誇った宮田織物(株)。時代の要望に耳を傾け、  
「変えていくこと」と「変えてはいけないこと」を見極め、  
奮闘する4代目の取材です。



みやたおりもの  
**宮田織物株式会社**

代表取締役社長

よしがい

**吉開 ひとみ 氏**

福友支部

創業 1913年  
住所 筑後市羽犬塚375  
電話 0942-53-5181  
従業員 77名(うち女性従業員50名)  
<http://miyata-orimono.co.jp>  
織り・デザイン・縫製全て自社製オリジナルの和木綿素材の婦人服・綿入れ裃天・作務衣



自社の歴史を語る宮田智会長

## 歴史を紡いで

取材には父親の宮田智<sup>さとし</sup>さん(3代目社長・現会長)も同席していただきました。柔らかな微笑みをたたえながら、会社の説明をしていたきました。

会長は温故知新の精神を尊び、旺盛な好奇心で昭和を突っ走り、久留米絨、綿入れ裃天と、時代の流行を牽引してきました。最盛期は

取材 広報部  
文章 菅原 弘(東支部)  
写真 事務局



宮田織物(株)外観

500人の内職を抱えていたと言います。常に経営環境を読んで、久留米絣を取り入れた婦人服の分野に進出し、オリジナルブランド『彩藍』を立ち上げ、娘のひとみさんに思いを託しました。

宮田織物のものづくりは、選び抜いた経糸(たていと)と緯糸(ぬきいと)で、オリジナルの幅広の生地『和木綿』を織り上げるところから始まります。着る人へ思いを馳せながら、デザインし、一枚一枚心を

込めて縫い上げていきます。

## 赤字に転落

平成25年、創業100周年を機に、吉開さんが4代目社長に就任しました。市場は成熟しており、ものが売れない環境となっていました。特に服は、誰もがたくさん持つっており、ローコストの製品が広く出回るなど、供給量過剰の状態です。今や日本は繊維製品の国内自給率は3%とも言われています。コア(中核)をなす企業を中心に分業して製造していくのが一般的な繊維業界の中で、宮田織物のように一貫生産する企業は珍しいケースです。

宮田織物は創業以来、B to Bの取引が主流で、得意先の要望に応じているうちにアイテム数が膨らんでいきました。カラーバリエーションにも対応しなければならず、逆にロットは小さくなり、経費はかさんでいきます。そこに暖冬が追い打ちをかけました。売上が減少した結果、平成26年度に同社は赤字を計上してしまいました。「一貫生産は強みである一方で、弱みとなることもあります」と吉開さんは言います。生産工程におけるボトルネック(最も流れが滞る場所)が常に変化し、特定しにくい

ため、問題対処が遅れてしまいます。吉開さんは自社のボトルネックは縫製部門ではないかと考え、一時は切り離さなければならぬかと悩んでいました。しかし、そもそもロットが小さ過ぎることが問題であること、さらに有機的にリンクしていくためにも、それぞれの部門の意思の疎通(コミュニケーション)が不足していると考えました。

## 3つの『みえる化』

そこで吉開さんは平成27年度に立て直しを図りました。そのテーマは3つの『みえる化』です。

### 【見える化】

まず、ブランド『彩藍』の見える化をしました。具体的には、着てくださるお客様像、いわゆるペルソナを想定していきました。年齢・家族構成・年収・ライフスタイル・趣味・購読する雑誌などを想定していき、その人がどんな服を着られるのかをスタッフと話し合っています。たった一人の方へきちんと思いを届けられてこそ、たくさんの人に思いが届くという考え方からです。

### 【見える化】

次に、数値の見える化をしました。粗利を意識し利益を確保する。前年の反省の上に立ってアイテム数を絞り込みました。同時に、販売

チャンネルを見直し、B to Bの比率を減らし、B to Cへの比率を高めていきました。博多リブレインなど3店舗の実店舗(リアル店)とインターネット(バーチャル店)での販売、さらに工場直売と生地販売に力を入れました。

### 【見える化】

そして、理念の見える化をしました。同社の理念は「一隅を照らす」。会長が常々言う言葉を踏襲しました。「自分たちが置かれた場所でベストを尽くして周りを照らそう。小さな光がやがて大きな光となり、全体を照らしていく。」この考えを社内でも共有するようにしていきました。

3つの『みえる化』で、目標・問題・成果を社内でも共有していき、さらに平成28年度は、『粗利の最大化』を掲げています。

## コミュニケーションを深める

吉開さんは社員とのコミュニケーションを図るために、数年前から個人面談を始めました。話せば話すほど意外に基本的なところのすれ違いが多いことに気づきました。ボタンの掛け違いのようでした。そこでコミュニケーションを深めるために、社内木鶏会(雑誌『致知』を使った小グループの勉強会)



機織りの様子



裨天に綿を入れる様子

で、感想を共有していききました。それらのコミュニケーションを通して、吉開さんが考えている以上にスタッフがいろいろなことを考えている

ことに改めて気づかされました。「私は、がんばれ！がんばれ！ばかり言っていたのですが、社員は何をがんばればいいのかわからなかったですね。これではがんばりたくても動けない。」

宮田織物は、女性が多いのも特徴の一つです。「4年前、子育て応援企業として表彰されました」と吉開さんは笑みを浮かべて話します。産休や育休もさることながら、安心して復帰できる雰囲気づくりが大切だと考えています。また昨年より3S（整理・整頓・清掃）にも取り組み、社内の雑巾がけを、週に1回全員で行なっています。

「社員は素晴らしい人材がそろっています。私が方向性をしっかりと

示せば、自発的に動いてくれるのです。」

## 手から手へ

「100年企業として永くお客様に支持された理由は何だと思えますか」という質問に吉開さんはこう答えてくれました。

「会長がいつも言っていることです。見えないところにも手を抜かず、しっかりとした仕事をすることだと思っています。」

綿入れ裨天の中の綿は質を落としても外見からはわかりません。最終工程の『手とじ』の針目も同様です。そういう見えないところこそ、しっかりとした仕事をする。「お客様は着ているうちにおわかりになりますし、その積み重ねが信頼のブランドへとつながります。手から手へ、ひと織りひと針、愛情こめて、お客様へ商品と想いをお届けしたいと思っています」。

「高齢化や独居化が進む中、家に閉じこもりがちな人が増えています。そんな人たちが、ちょっとおしゃべりをして外出したくなる、誰かを家によびたくくなる、そのきっかけになるような服づくりができれば嬉しいです」と吉開さんは語ります。オリジナルの和木綿素材で作った宮田織物の商品には、そんな思い



できあがった裨天の最終チェックをする様子

が込められているのです。

## 一人ひとりが輝く会社

取材の最後に吉開さんが考える自立型企業についてお伺いしました。

「社員の一人ひとりが輝いている企業ですね。オリジナルのものづくりをしながら、適正な利益を生み、永続していく。社員が笑顔で、お客様も笑顔で、地域社会にも笑顔を生み出す企業だと思います」と力強く締めていただきました。

取材協力ありがとうございました。

全国行事参加報告

第46回 中小企業問題全国経営研究集会

日本ビルケア株式会社

山田 秀樹 (福友支部)



分科会

私が参加した第11分科会(「同友会で学んで実践、理念を繋いだ事業継承」)は後継者問題ですが、今や黒字でも、事業継承できないで廃業する会社が7万社に及び、その廃業による失業者は20万人を超えると言われています。

報告者である岩島伸二氏(京都エレベーター(株) 取締役相談役(京都同友会 代表理事))は、ELV(エレベーター)メーカーに入社後暫くして退職し、その後ELV工事メンテナンス会社を1983年に設立。

1992年に同友会と出会い、現在に至っています。

現在67歳で現相談役、現社長に引き継ぎ済みで次期社長候補を育成中。その次の候補3名に対して同友会運動に参加させ、経営理念を伝承中とのことです。

「後継者ほど経営理念を伝承しなければならぬ。それに、事業を続けるにあたり、将来の事業を考えて継承しなければならぬ」と説きます。事業継承は個人ではなく集団にて「何をどのように伝えるか」が重要で、未来の問題ではなく、今の問題であると認識すべきです。

会社は公器で、ここで働いている人のものです。役員は社員の中



報告する岩島伸二氏

から能力ある人間がなり、実践は社員が行うものです。だから、経営指針書は社員と共に合意形成して進めるものなのです。



第11分科会の様子

記念講演

十河孝男氏(徳武産業(株) 代表取締役会長(香川同友会))が報告した

記念講演の「足もとに笑顔をお届ける会社」を聴いて、経営者とは本当に辛くて、なんとしんどい役割であるかと思いました。しかし、諦めずに信じて挑み続けると、至高の喜びが待っているのも経営者なのだとしみじみ感じました。

B to Bを脱却する覚悟を決めましたが、自社ブランドの当てがありませんでした。そんな折に「お年寄りが転ばない靴をつくれぬか?」という依頼が舞い込んだので



講演する十河孝男氏



記念講演の様子

す。徹底した市場調査の結果、1万種類を超えるバリエーションとカスタマイズにより、他ではマネのできない介護者用の素晴らしい靴が生まれたのでした。

いまでは社員さん自らが、靴一足一足にお手紙を同封して感謝を伝えていきます。そのことで、多くの感謝に満ちた御手紙やビデオが贈られ、社員のモチベーションも以前とは比較にならないと仰っていました。

利益に困っても利益を追うと逃げてしまいます。困った人を助け、喜びを分かち合うことから生きる力が湧いてくる。そのことが価値として利益につながることを学びました。

我々は、何のために経営をしているのか？ 損得よりも善悪で判断しなければなりません。経営者は独りではできることが限られているので、人が喜んでくれることを組織をつくって貢献する。つまり社員も「人に感謝される仕事をしたい」ということにつきます。



奇跡を起こしたピンクの靴と同じもの



報告する久賀きよ江氏

分科会  
私が参加した第7分科会は、埼玉の久賀きよ江氏(株)メガネマーケット 代表取締役)が報告した「業界の激動に直面し、どん底からの脱却！〜隣接異業種による新規性5%とは〜」です。今回、2度の大きな危機を乗り越えてきた経験をもとに報告いただきました。  
その危機とは、①業績が順調に伸びている時にスタッフの「使い込み」が発覚、信頼の低迷。②安価



株式会社権藤本店  
佐々木 善一 (中央支部)



第7分科会の様子

のチェーン店進出による市場規模の縮小。

この2つの危機を乗り越えたことで、「自社の強み」と「人材の発掘・定着」という強みを得ました。会社のどの分野もこの強みをもとに進めていけるようになったそうです。

### 記念講演

記念講演は「足元に笑顔を届ける会社」軌跡を起こしたピンクの靴」というテーマで徳武産業㈱の代表取締役会長 十河孝男氏が報告しました。

「お年寄りが転ばない靴を作ってくれないか？」という介護施設を運営する友人の依頼で、今の事業を始めました。それまでも義父から受け継いだ「手袋製造」や「ルームシューズ・旅行用スリッパ」の製造販売で様々な事業展開をしていましたが、時代の波に翻弄されなかなか落ち着いた時期がなく、なんとか会社の運営をしていました。

友人からの依頼を自分の特命だと信じ、2年かけて30箇所以上の老人施設を回り、500人以上の高齢者の足を見て声を聴いたそうです。そこから今までに誰も販売していなかった靴を開発し、改良を重ね、「転ばないシューズ」を完成させました。徳武産業の考え方は「損得」ではなく「善悪」という企業判断。常にお客様に寄り添い、会社のスタッフに寄り添い、日本一の「ありがとう」をもらおう会社になり、それを勲章に日々奮闘しています。

### 全研に参加して

今回の全国研究会の分科会、記念講演にて私が共通して残った印象は「人材」と「強み」です。自社の「強み」を確立する為に「人材」が必要不可欠です。私の立場が行うことは「強み」と「人材」を確立するために「経営理念」「経営計画・経営指針」の作成が不可欠だと思いましたが、「経営計画・経営指針」の作成の前に「経営理念」がいると思えます。私も今まで作成していましたが、「スタッフと共に作る」ということは目から鱗でした。

早速自社に帰り、経営理念の「バリュー」の部分スタッフで話し方針を定めました。近いうちに経営計画・経営指針も作成し、人材と共に強みを確立することを目標に頑張ります。

### 書籍販売のご案内

## 「人を生かす経営 ～中小企業における労使関係の見解」

本書から学ぶべきことは、経営者の経営姿勢の確立こそ社員との信頼関係を築く出発点、経営指針の成文化とその全社実践の重要性、社員をもっとも信頼できるパートナーと考え、高い次元の経営をめざし共に育ちあう教育(共育)的人間関係をうちたてること(「まえがき」より)。



企画・発行：中小企業家同友会全国協議会 頒価：300円 お問い合わせ：福岡同友会 事務局 TEL：092-686-1234

# 自社商品・サービス紹介 株式会社カラーリングファーム

## 自社栽培のラディッシュを使った 「さくらんぼ大根のやさしい酢漬け」



自社栽培のラディッシュを使った「さくらんぼ大根のやさしい酢漬け」を4年前に商品化しました。商品の特徴は、添加物や着色料を使用していない、ラディッシュの自然な赤色と素材を生かした食べやすいシンプルな味付けです。



代表取締役  
ならはら けんいち  
榎原 憲一 氏 (りょうちく支部)



取り組みのきっかけは農業の六次産業化の流れの中で、自社でも生産以外に何かできないかなと思つたことでした。  
当社では30年前からラディッシュの生産を行っています。  
以前からたくさんラディッシュが採れて出荷に間に合わない時期などは自宅で酢漬けにして食べた



平成27年度の福岡県六次化商品コンクールにおいて、県知事賞を受賞しました。賞は頂いたもののこの取り組みが軌道に乗るにはまだまだの状況です。  
今後は商品改良や新商品開発を続けて加工品の製造を軌道に乗せて今よりもっと良い農業経営ができるように販路開拓を進めていきたいと考えています。

り、近所の方に配ったりしてました。現在の商品はその自宅で作っていたレシピを参考に作りました。  
漬物加工は何も知識も経験もないところからのスタートでした。製造、衛生管理、商品づくり、価格設定、営業、販売のやり方など試行錯誤で行ってきました。この取り組みのおかげで多くの体験を積みこ



### 株式会社カラーリングファーム

〒830-1115 久留米市北野町鳥巢1280-1  
TEL 0942-78-4040  
FAX 0942-78-4009

<http://coloring-farm.com/>



# 第54回 定期総会 記念講演

【総会第1部 14:35~15:40】

愛媛大学名誉教授・聖カタリナ大学教授

講師 **山本 万喜雄 氏**

「人間讃歌」とは、“人間を肯定的にとらえる”ということで、同友会でいう“人間尊重”の考え方に繋がります。

福岡同友会の2016年度運動方針にあります「人を生かす経営の総合実践」とは何か、また、「人間らしく生きる」とはどういうことなのかを共に学ぶ機会とします。



## 「人間讃歌の共育運動に寄り添って」 ～人を生かす経営・共育は地域とともに～

### <山本 万喜雄 氏 プロフィール>

1946年愛媛県に生まれる。都立高校(定時制)教諭を経て1974年から2012年まで愛媛大学教育学部に勤務。この間4年にわたって教育学部附属養護学校校長を併任。2014年から聖カタリナ大学に勤務している。健康教育学専攻。1988年第4回社員教育全国交流会で講演して以来、同友会運動とつながってきた。主な著書として、「えひめの教育 未来へのかけ橋」(青磁社)「共育はよろこび」(創風社出版)「マッキーの子育て讃歌」(草土文化)などがある。

**日時：平成28年5月12日(木)**

14時受付開始・14時30分開会

記念講演：14時35分～15時40分

\*記念講演終了後、総会表彰・総会議事に入ります

**会場：福岡県中小企業振興センター  
2階大ホール**

福岡市博多区吉塚本町9-15-2F (JR吉塚駅東口すぐ)

\*\*\* 会員の皆様へ \*\*\*

第54回定期総会(記念講演・総会表彰・総会議事・交流会)の出席申込は、別途、総会案内文書の出欠回答書にて事務局までご提出ください。なお、総会にご欠席の場合は、委任状をご提出ください。

# 中小企業家同友会全国協議会九州沖縄ブロック 第10回支部長・支部役員研修交流会のご案内

## 『何のための同友会か?を追求し、 企業経営と同友会運動を不離一体のものとする』

- 開催日：2016年5月26日(木)13:00開会 ～27日(金)12:30閉会
- 会場：ホテルニューオータニ 佐賀 佐賀市与賀町1-2 ☎0952-23-1111
- 参加対象：正副代表理事・地区(ブロック)役員・政策担当役員・支部長・支部役員・事務局ほか
- 参加費：10,000円 (交流会・懇親会費を含む、宿泊費は別)

※申込み締切り5月20日(金)(キャンセル期限)

### 内容・スケジュール

#### 5月26日(木)

##### 『同友会運動と企業経営は不離一体』

中同協 副会長 中村 高明 氏 (楳紀之国屋 会長)

##### <各県の事例報告>

企業づくり・・・長崎同友会

政策委員長(理事)

宮田 正一 氏 (楳ミヤタ 代表取締役専務)

地域づくり・・・福岡同友会

筑豊地区会長(理事)

有田 栄公 氏 (有田電器情報システム(株) 代表取締役社長)

同友会づくり・・・沖縄同友会

副代表理事

真榮田 一郎 氏 (マエダ電気工事(株) 代表取締役)

#### 5月27日(金)

##### 『教育と条例づくりと地域』

愛媛大学法文学部

教授 和田 寿博 氏

NPO法人家族支援フォーラム

理事長 米田 順哉 氏

愛媛同友会

専務理事 鎌田 哲雄 氏

##### ■ 講演内容について

同友会の三番目の目的「良い経営環境をつくる」の目的に沿って、調査活動・産学官連携・地域課題を愛媛同友会では進め、全ての市町に条例づくりを目指した運動を展開しています。その基礎となる支部も「地域理念」の下に活動を行っています。

各々の会員の同友会の「3つの目的」の総合実践と併せて、各地域での「調査・条例・振興会議」にて安心できる町づくりへの具体的な実践報告です。

### アクセス

佐賀城・佐賀県庁の掘割の東側

JRで博多から佐賀まで約40分

お車で佐賀駅から約5分

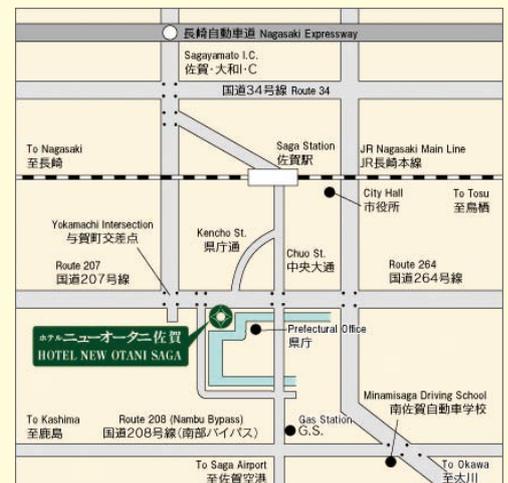
JR佐賀駅より徒歩2.5km

佐賀空港より約15分

JR佐賀駅よりバス「辻の堂」8分

福岡空港から約50分

高速佐賀大和I.C.から約20分



# 5月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu  
もしくは、同友会事務局までお願いします。

**14日** 13:00~16:30

共同求人委員会  
第1回合同企業説明会

■ 福岡県中小企業振興センター 大ホール  
福岡市博多区吉塚本町9-15 2F ☎092-622-6230

**16日** 18:30~20:30

共同求人委員会  
第3回共同求人委員会

中小企業の選考方法について  
■ 福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

**19日** 18:30~21:00

りょうちく支部  
5月例会

協力メーカーとして学んだこと  
～日田の中小企業と自動車メーカー関連会社との奮闘～  
■ 原鶴温泉“やぐるま荘” 朝倉市杷木久喜宮1890-1 ☎0946-62-0700  
■ 内野 克彦 氏 中山化成有限会社 部長 (りょうちく支部)  
30歳の時に転職してから12年、製造業の経験がないまま自動車メーカー関連会社とのやり取りを行って行く中で、時には厳しく、時には一緒になって色んなことを教えてもらいます。製造業の基本である5Sのことや、自動車は数年に1回フルモデルチェンジをするので、その時のやらないといけな準備や苦労を話して頂きます。

**20日** 18:30~

2016年度北九州地区総会・  
北九州支部総会・ひびき支部総会

■ KMM 第7会議室ほか 北九州市小倉北区浅野2-14-1 ☎093-511-4101  
【第1部】 北九州地区総会 18:30~19:30  
【第2部】 北九州・ひびき支部総会 19:40~20:40  
※2会場に分かれて開催します。  
【第3部】 懇親会  
※第1部の地区総会および第2部の支部総会に欠席される場合は、必ず委任状を提出ください。

**20日** 18:30~21:00

久留米支部  
5月例会

なぜ今5S活動なのか？

■ 久留米市民サポートセンター  
久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067  
■ 森山 佳治 氏 森山工業株式会社 代表取締役社長  
会社が、なぜ5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を行う必要があったのか、また活動を行う前と後でどのように変わってきたか、その実態を報告していただき、一緒に考えていきたいと思います。

**23日** 18:30~21:00

企業連携推進委員会  
FAST5月例会

スマホで様変わりする中小企業経営  
～簡単にできる会社の顧客とのコミュニケーション～  
■ 福岡県中小企業振興センター 403会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011  
■ 中村 宏 氏 ファン創りの名人 クリエイト/パリュール 代表 (中小企業診断士)  
スマホ、クラウド、アプリの普及が進み、それらを格安で活用できる時代になったことで、中小・零細企業のスマホ活用が様変わりしてきています。今回は、「ファン創りの名人」として中小・零細企業のIT支援を続けておられる中村宏氏に、事例報告を通して皆様のお役に立つ顧客創り、仕組み創り、社内情報の進め方などについてお話し頂きます。これから発展するあなたの会社の、新しい簡単情報化の取組の参考になります。

**24日** 15:30~17:20

2016年度  
福岡地区総会

■ 福岡県中小企業振興センター 2階大ホール 福岡市博多区吉塚本町9-15

**25日** 18:30~20:30

共育委員会  
社会人例会企画会議

■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234  
6月、8月に開催する社会人例会の企画会議を開催致します。この会議に参加することが社会人例会の参加要件です。「社員と共に育つ」を実践していきましょう!

**30日** 17:00~21:00

2016年度筑豊地区総会・  
筑豊支部総会・嘉飯支部総会

■ バドドゥル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138

## 2015年度 第11回理事会報告

■ 日時：2016年3月23日(水) 14:30~17:30  
■ 出席：42名 (出席率72.4%)

■ 場所：福岡県中小企業振興センター 202会議室  
■ 議長：貞池 龍彦 (副代表理事)

### 協議・審議事項

- 第54回定期総会提出議案  
下記の総会議案について報告され、審議を行った。  
①2015年度活動総括  
②2016年度運動方針骨子及び本部・室・委員会・地区活動方針  
③2015年度決算見通し及び2016年度予算案  
④役員交代に伴う新理事候補
- 新事務局長選任について  
次年度4月1日より、坂田いずみさん(現在事務局次長)を新事務局長とすることが提案され、拍手をもって承認された。  
※坂田次期事務局長は理事候補として総会に推薦されること、また、次年度より川畑事務局長は専務理事に専任することが補足された。
- 組織運営規程改正(表彰規定)  
現在会歴20年と30年を総会にて表彰しているが、現状40年を超える会員も在籍していることから、会歴40年、50年の表彰も行っていけるよう、組織運営規程の改正について提案され、承認された。  
※川畑専務理事より、今回新たに規定することとなったため、今回の総会に関しては、40年以上のすべての会員を対象に表彰することが補足された。

### 報告事項

- 会員企業のうごき  
■ 経営革新計画承認企業 2016年2月(県24社/うち同友会会員企業2社)  
○(株)タマヤサンローズ 崎山 盛久氏(北九州支部)  
○(株)デザインネットワーク アソシエイツ 村山 陽子氏(東支部)

### 要請・案内事項

- 中同協全国行事
- 第19回女性経営者全国交流会(6/16~6/17 旭川) 第3分科会は三宅静恵氏(合同会社三宅牧場まきは〔筑紫支部〕)が報告。

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2015年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。



会員からの

# 自由投稿!

このコーナーでは、会員のみさんから寄せられた記事をご紹介します。

## 座禅会

座禅会を始めてから早12年の月日が流れた。あらためて、本当にそんなに月日が過ぎたのだろうかと思う。

ある日、座禅を始めたいとの思いから、博多区御供所町の聖福寺の傍らに佇む塔頭の瑞應庵(ずいおうあん)を訪ねて行った。私より一回りは若い寺の和尚は、私の思いをくみ取り承諾してくれた。

その後、聖福寺が臨済宗妙心寺の流れを受ける日本最古の禅寺と知り、由緒ある寺で座禅を組めることにありがたいと思った。

月に一度の朝六時半からの座禅は、都会の喧騒とした中にあっても、敷地約3000坪の広さの境内は、清々しい空気が感じられる格別の世界である。最近は、十数名の方々と一緒に座禅を組んでいるが、時には警策で背中を叩いてもらったり、般若心経を読み上げたりで、己を見つめることができるひとりで、本当に有難く気分転換ができる時間だ。

さて、現代のように、科学や、物質万能の時代には、たまには喧騒とした時の流れからかけ離れて、自分で自分の心にささやいてみるひと時が必要ではないでしょうか。自分は今、永遠の中の一刻に生き、生かされていることを認識しましょう。

禅は従って哲学の世界に遊ぶ事だと言われています。さあ、皆さんも一緒に気軽に禅を体験してみましょう。



瑞應庵(ずいおうあん)

下記の日程で開催していますので、ぜひご参加ください。

**日時:** 毎月第3木曜日午前6時30分～8時迄  
(15分前にお集まりください)

朝6時30分から約1時間、その後にお茶会をします

**場所:** 聖福寺(日本最古の禅寺)境内の中の「瑞應庵」(ずいおうあん)  
<http://www.shofukuji.or.jp/access/index.htm>  
博多区御供所町(地下鉄祇園駅下車で、徒歩5分位)  
無料駐車場有(15台位駐車)

**会費:** 1000円/回(どなたでも自由に参加出来ます)

**服装:** 座禅が組める服装であればOKです(スーツでも可)

座禅会世話人 金本 光弘 (南支部)

## 明球会

(ゴルフ同好会)

明球会は3月から11月まで、8月を除いて毎月開催しています。毎回2組から4組でプレーした後、表彰式、そして天神近辺での懇親会という流れです。コースは福岡市近郊が多くなっています。

メンバーは、南支部の会員が中心ですが、他の支部の会員さんやゲストの方、いろいろな方が参加されます。

明球会を継続してよかったことは、新しい会員が増えたことです。ゲストの方が、ゴルフが好きで南支部の会員と一緒に明球会に来ていました。ゴルフと一緒にプレーするうちに仕事の話をしたり、同友会のことを話したりして入会へとつながった例もあります。

また、ゴルフ好きの女性会員が入会したことが、男性中心でやっていた明球会にはとても大きく、華やかになり、より一層楽しい会になりました。

世話人 北原 正 (南支部)



**あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか!**

このコーナーの記事を公募いたします。テーマは自由です。川柳、写真、地域の紹介、雑学...等々。みなさんの投稿をお待ちしております。

投稿方法...電子メール、郵送いずれも可。表題に「月刊同友 自由投稿コーナー」とご記載ください。

送付先...一般社団法人福岡県中小企業家同友会 広報情報推進本部広報部 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは、福岡同友会事務局 旭(s\_asahi@fukuoka.doyu.jp)まで

※応募が多数の場合は編集委員会にて選考いたします。